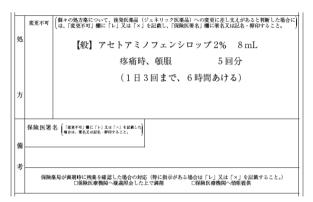
104-337

問題文

6歳男児。体重20kg。歯科診療所で抜歯後、母親がこの男児の処方箋を薬局に持参した。



男児はシロップ剤が苦手のため、母親は粉薬への変更を希望した。薬局にはアセトアミノフェン細粒20%がある。

アセトアミノフェンシロップ2%及び細粒20%の添付文書には、「通常、アセトアミノフェンとして、体重 1kgあたり1回10~15mgを経口投与する」と記載されている。

本症例に対し、薬剤師が処方医に対して行う対応の中で適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1. アセトアミノフェンの1回量が過剰であることを疑義照会する。
- 2. アセトアミノフェンの1回量が不足であることを疑義照会する。
- 3. アセトアミノフェン細粒20%1回量2g、5回分への変更提案をする。
- 4. アセトアミノフェン細粒20%1回量1g、5回分への変更提案をする。
- 5. アセトアミノフェン細粒20%1回量0.5g、5回分への変更提案をする。

解答

2, 4

解説

体重 1kg あたり 1回 $10 \sim 15$ mg なので 20kg なら 1回 $200 \sim 300$ mg です。 シロップ 8mL = 8g です。 2% なので、含有するアセトアミノフェンは $8 \times 0.02 = 0.16$ g = 160mg です。不足を指摘する必要があります。

細粒にすると 1回量 2g であれば、20% なので 400mg となり多すぎます。 1 回量 1g であれば、20% なので 200mg で妥当です。1 回量 0.5g であれば、20% なので 100mg で少なすぎます。

以上より、正解は 2.4 です。